



特別な年、特別な想いで駆け抜ける— 町内各小学校と白鷹中学校で運動会を開催

9月から10月にかけて、町内各小学校と白鷹中学校で運動会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、臨時休校期間が長く続いたこともあり、どの学校も平日の開催となりました。感染症対策として、競技時間や種目などの見直し、応援合戦の中止および規模縮小などが施され、例年とは異なる運動会となりましたが、児童および生徒たちは、力いっぱいコースを駆け抜けたとともに、頑張る仲間を懸命に応援していました。

どの学校でも熱戦が繰り広げられ、観戦に訪れた保護者や地域の方からは歓声が沸きました。



蚕桑小



荒砥小



鮎貝小



蚕桑小



荒砥小



鮎貝小



蚕桑小



白鷹中



白鷹中



東根小



白鷹中



東根小

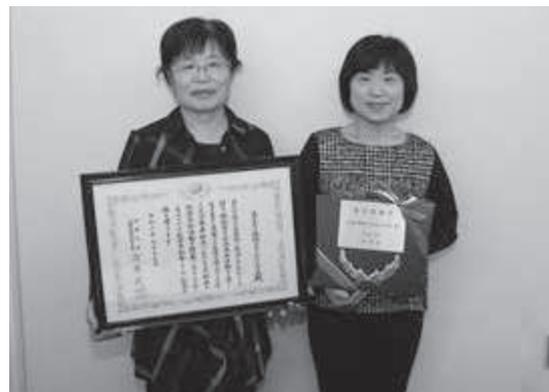


共生社会の推進に尽力いただいている功績をたたえて

「支えあう地域づくりなないろの会」が内閣府より「エイジレス・ライフ社会参加章」を受章

支えあう地域づくりなないろの会（佐竹正子会長）が内閣府よりエイジレス・ライフ社会参加章を受章し、9月25日に健康福祉センターで授与式が行われました。

この章は、エイジレス・ライフ（年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送ること）を実践している高齢者や地域で社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループなどに贈られるもので、週に2回、百歳体操や趣味の活動、お茶のみ等の場を提供する「つどいの場にじ」の運営、毎月第3土曜には地域食堂を開くなど、共生社会の推進に貢献していることが認められ、このたびの受章となりました。



賞状を手にする佐竹正子さん（左）と盾を手にする黒沢昭子さん（右）



地元の素材をふんだんに使った味噌が栄光に輝く

「米沢牛入りごんぼ味噌」が山形のうまいものファインフードコンテストで「おいしい山形賞」を受賞

10月15日、山形国際交流プラザにおいてやまがた食産業クラスター協議会が主催する令和2年度山形のうまいものファインフードコンテストの表彰式が開催され、あべ工房の「米沢牛入りごんぼ味噌」が畜水産加工部門にて、おいしい山形賞を受賞し、表彰状が贈られました。

今年度、畜水産加工部門に応募があったのは13品。その中でおいしい山形賞に輝いた「米沢牛入りごんぼ味噌」は、白鷹町産の大豆を原料とした味噌を使い、岡の台ごんぼの菌ごたえある食感や、南蛮の適度な辛さ、贅沢に使った米沢牛のうまみと香ばしさが広がります。ご飯のお供にはもちろん、豆腐や餃子にもぴったりの商品です。



米沢牛入りごんぼ味噌を手にする安部克子さん



郵便局のネットワークを活用し、地域の活性化を—

日本郵便株式会社と包括的連携に関する協定を締結

10月20日、白鷹町と日本郵便株式会社による「包括的連携に関する協定」の締結式を白鷹町役場で行いました。

これは、郵便局の地域に根付いたネットワークを活用し、地域住民が安心して住み続けることができるまちづくりに寄与していただくための協定です。具体的には、災害時の協力や不法投棄などの情報提供などを行っていただきます。

日本郵便株式会社が長きに渡って築きあげてきた地域との絆と信頼を、今後のより良いまちづくりにご尽力いただきます。



日本郵便株式会社および町関係者の皆さん